



一般質問

「フーテレビ・ノーゲーム運動」の進捗状況について



つかもと こうじ
塚本 光司
議員

質問 ノーテレビ・ノーゲーム運動について、

- 1 アンケートの実施は。
- 2 アンケートの分析は。
- 3 家庭における評価は。
- 4 子ども、親、先生の体感。
- 5 今後の継続的取組みは。

答弁（教育長） 夏休み、春休み、正月休み等の際に、子どもを小学校、中学校、保育所、幼稚園に通わせている全戸にチャレンジシートを配布して、ノーテレビ・ノーゲームをしたら家庭、子どもにどんな変化が見られたか書いてもらった。これまで7、8回

実施したが、回収したすべてに目を通し、体験感想集としてまとめた。実際にやることんな変化や、さまざまな良い効果があると小学校、中学校、保育所、幼稚園で見てもらっている。ほんの一例だが、「ゆっくり食事をするようになった。」「自分から勉強するようになった。」「兄弟で外で遊ぶようになった。」「自分から本を読むようになった。」「家でお手伝いをするようになった」等、多数の良い感想が挙げられている。そして、1年でこのような結果になるとか、2年やればこうだとか、数値を挙げて説明は難しいが、これを5年後、6年後とずっと続けることで、成績面でも高まっていくだろうと思う。実際に全国学力テストの結果を見ても、最近は上昇傾向にあると言ってよいと

思う。

「0歳～90歳までの社会力育て」の進捗状況について

質問 教育長として発信し続け、著書「社会力を育てる」において、広く世間に表現されている社会力育てとは。



答弁（教育長） 「人と人が繋がって社会をつくっていく力」と説明している。人と人が繋がってということは、他の人と良い関係をつくりながら、自分さえ良ければいいという事ではなく、さまざまな人たちと力を合わせながら、よりベターな、よりましな社会をつくっていくということ。

質問 心が豊かだと幸せになれるような気がする。幸せの尺度は自分が決めるものと思うが、ある程度余裕がないと社会力を育てるのは容易ではないと考えるが。

答弁（教育長） 親の社会力の程度が、子どもの社会力や成績に影響するが、親の社会力そのものは、必ずしも家庭の経済資本だとか文化資本に左右されるわけではない。お金持ちだとか、ゆとりがある家だから、親の社会力が高まるということではない。

